

くらしの目線で市政を変える

# こんにちは 日本共産党 西野さち子です！

発行：2021年3月28日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 TEL:075(611)9135 FAX:075(602)9117



## だいごキャンドル2021 10 YEAR フクシマを忘れない…原発なくすまで



3月14日、今年は雨の為1日延期になりましたが、約4100個の思いが寄せられ、「だいごキャンドル2021 10 YEAR」の文字と10個の綿毛に並べられました。

東日本大震災が起きた時刻に合わせて、準備の手を止めて黙とうが行われ、西野市議も参加しました。時折風が強く吹く中、風との戦いでしたが、夜には、醍醐の街明かりに中に、地域住民の皆さんの思いを照らす文字がくっきりと浮かび上がり、感動を呼びました。

多くの皆さんの願いに灯がともりました。自分の書いた紙コップを探す親子のほほえましい姿が今年も多くみられました。来年も成功させたいですね。

## 市長総括質疑で徹底追及 コロナ便乗の福祉切り捨て許さない

### 議会 レポート

3月17日と18日に市長・副市長に直接質問する市長総括質疑が行われ、日本共産党からは計10人が質問しました。

西野さち子市議は17日に「男女共同参画」「ジェンダー平等」「学生支援」について質問しました。また、日本共産党は「市会議員団アンケートに1700通以上の深刻な声が寄せられた。コロナで大変な時に、惨事便乗型の福祉切り捨ては、自治体のやるべきことではない。来年から4年間で760億円必要と言うが、必要額は半分以上減らすことができるはず。2年間の大型事業の見直しでさらに112億円減らせる」「財政難と言いながらこれまで地下鉄東西線はゼネコン言いなりに工事契約の変更を繰り返し、市債発行を増やした。高速道路も関連事業を含め665億円つぎ込み

出資金113億円も放棄した。財政悪化の責任は市長にある。敬老乗車証や保育料を取り上げて市民の分断をすべきでない」

「企業立地促進制度補助金は制度開始から昨年度まで、資本金3億円以上の大企業に25億8千万円その内任天堂と島津製作所の2社だけで15億円。市内企業の99.7%は中小企業。0.3%の大企業に補助金の約65%を出している。任天堂は5年間で内部留保を1兆5500億円に増やしている。大企業に補助金を出すのではなく、税金を取るべきだ」と追及しました。



## 性暴力のない社会を フラワーデモに参加しました



毎月11日は性暴力のない社会を目指して、法改正を求めるフラワーデモが行われています。西野さち子市議は、共産党市議団の同僚議員と一緒に、市長河原町に参加しました。

コロナ禍のもとで、

訴えはできませんが、マスクを着用し、プラカードと花を持ってスタンディングを行いました。

## 「コロナ封じ込めのための大規模な検査を」副市長に申し入れ

3月22日、議会の合間を縫って、共産党市議員団は京都市に対して、感染者数が減っている今こそ、大規模な検査が必要と申し入れをしました。「国もモニタリング検査を1日1万件を目指すと言っているが、全く足らない。高齢者施設などへの頻回・定期的検査、1日10万件の検査が必要。自治体任せではなく国にも強く求めると同時に、市としても努力をすべき」と井坂団長・加藤幹事長・西野副団長が申し入れ、村上副市長が受け取りました。